

●令和7年12月23日に女川湾沖合の5点（水深31~74 m）で海洋観測を行いました。海域全体でクロロフィルaが高く、目合いの大きなプランクトンネットにも関わらず植物プランクトンが採集されるなど、植物プランクトンの増殖が見られました。

### 【透明度】

透明度は9~11 mでした。

### 【水温】

水温は11.5~12.5°Cでした。岸側の定点で水温がやや低く沖合の中層以深で水温がやや高い傾向が認められました。

### 【塩分】

塩分は32.7~33.9でした。10 m以深で塩分が低い水塊が確認され、特に定点3の表層付近で塩分が低い傾向にありました。

### 【溶存酸素】

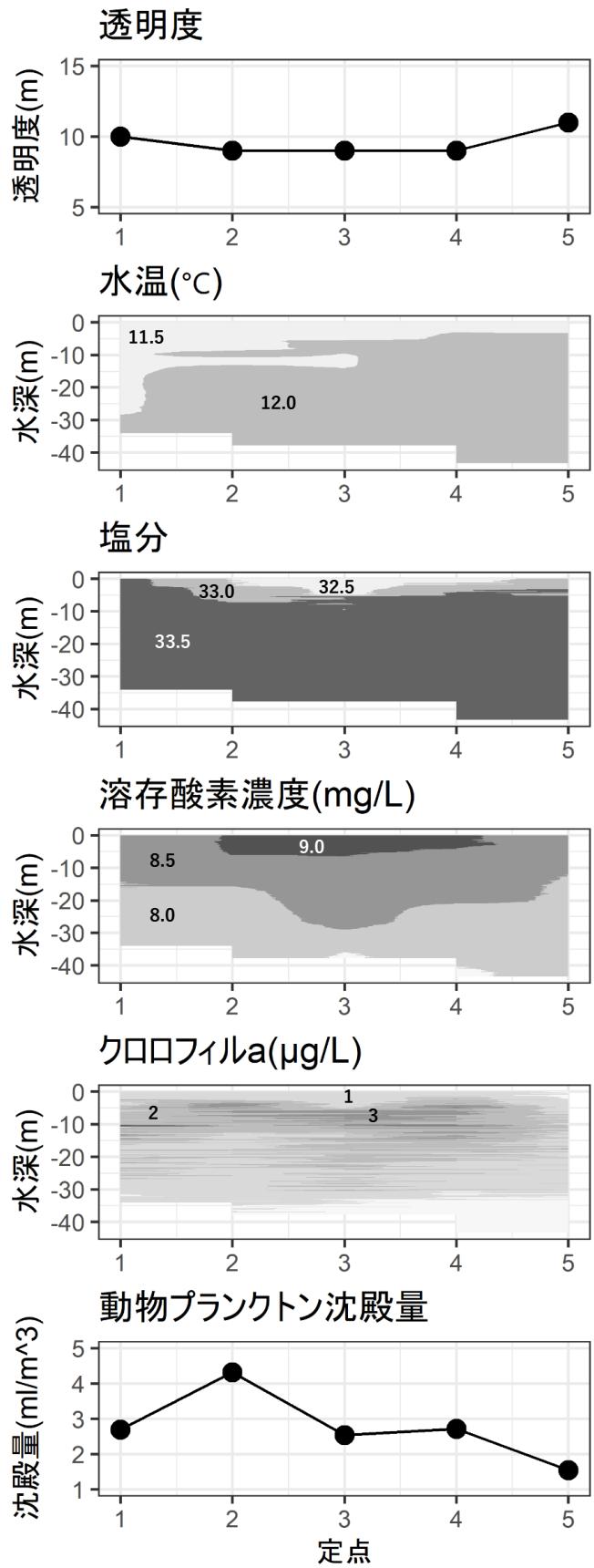
溶存酸素は8.0~9.1 mg/Lでした。定点2から4の表層付近で高い値が確認されました。

### 【クロロフィルa】

クロロフィルaは0.2~6.3 μg/Lでした。ほとんどの水深帯で1を超えて、調査海域全体で高めの値となっていました。

### 【動物プランクトン】

動物プランクトンの量は1.5~4.3 ml/m<sup>3</sup>でした。Calanus属のカイアシ類及びヤムシ類が優占していました。珪藻類もサンプルに混じり、除去できなかつたため、今回は参考値となります。



定点4（出島と笠貝島の中間点付近）

水深 (m)	水温 (°C)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	10.1	12.2	14.5	19.3	25.2	24.6	20.3	16.1	11.6
5	9.7	11.6	13.8	17.6	24.4	24.5	20.3	16.2	12.1
10	9.0	10.0	13.2	16.1	24.3	23.7	20.4	16.2	12.2
20	8.9	9.0	12.6	14.8	23.0	19.5	20.5	16.3	12.3
30	8.6	9.0	12.4	14.0	22.0	18.2	20.4	16.3	12.4
水深 (m)	塩分								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	29.8	32.8	33.3	31.7	33.3	33.3	33.2	33.6	32.7
5	32.3	32.7	33.5	33.1	33.6	33.3	33.2	33.6	33.6
10	33.4	33.2	33.5	33.5	33.6	33.6	33.3	33.7	33.7
20	33.5	33.5	33.7	33.6	33.7	33.7	33.3	33.7	33.7
30	33.5	33.6	33.7	33.6	33.8	33.7	33.5	33.7	33.8
水深 (m)	溶存酸素 (m/L)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	10.1	10.8	9.5	9.9	7.3	7.3	7.4	8.3	9.1
5	10.7	10.9	9.5	10.1	7.4	7.1	7.4	8.3	8.9
10	10.2	10.9	9.3	9.9	7.4	7.1	7.4	8.3	8.8
20	9.7	9.8	8.9	9.9	7.6	7.4	7.3	8.1	8.6
30	9.7	9.8	8.7	9.9	7.6	7.4	7.1	8.1	8.3
水深 (m)	クロロフィル a (μg/L)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	1.3	0.5	0.6	0.3	0.4	1.0	0.9	0.6	1.3
5	2.7	0.9	1.0	0.4	0.4	0.5	1.0	0.9	4.1
10	1.8	4.6	1.7	0.4	0.5	0.9	0.9	1.0	3.0
20	1.0	0.5	1.1	0.7	0.5	0.5	0.8	1.0	1.9
30	0.8	0.4	0.6	1.3	0.7	0.4	0.4	0.7	2.0

